

2 エコロジカルネットワーク

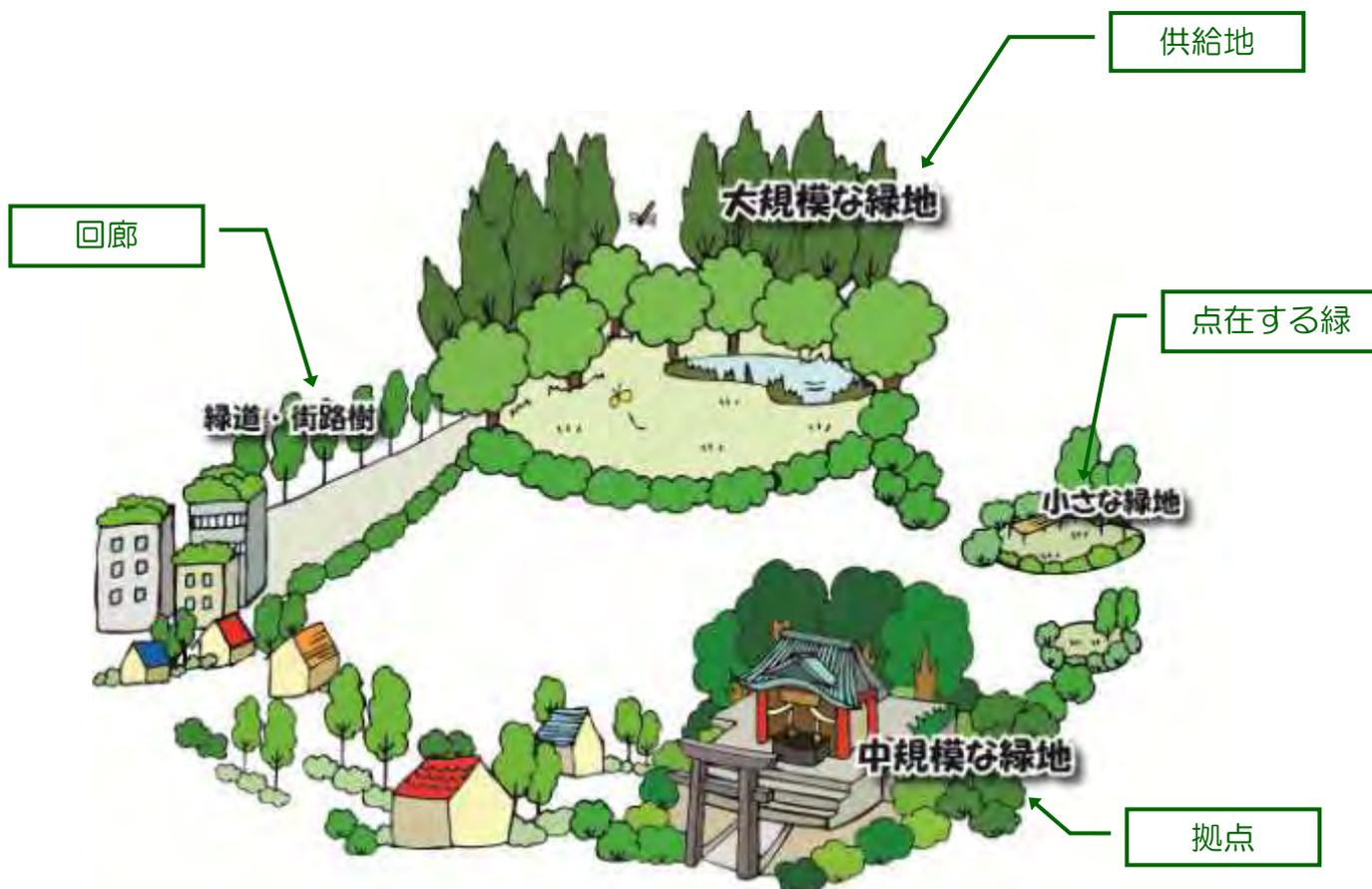
- (1) エコロジカルネットワークとは
- (2) エコロジカルネットワークの構成要素
- (3) 緑と水の配置方針

(1) エコロジカルネットワークとは

港区には、「生きもの」の生息拠点となっている地域ゆかりの緑地や学校の緑、公園、民有地の庭など、大小の様々な緑地がありますが、それらが市街地の中に点在しています。

緑地が点在している状況は、「生きもの」にとって個々の小さな緑地の中に取り残された状態となり、餌を十分に得られなかったり、繁殖する場所が限られてしまうなど、生息地として厳しい環境といえます。

そこで、「生きもの」の生息拠点となる緑地を小規模な緑地や街路樹などでつなぎ、「生きもの」が移動できるようにすることで、「生きもの」が暮らしやすい状況をつくる必要があります。このような、生物の移動が可能であるようにつながれた状態の生息地のネットワークを、エコロジカルネットワーク¹⁾（生態系ネットワーク）といいます。



エコロジカルネットワークの概念図

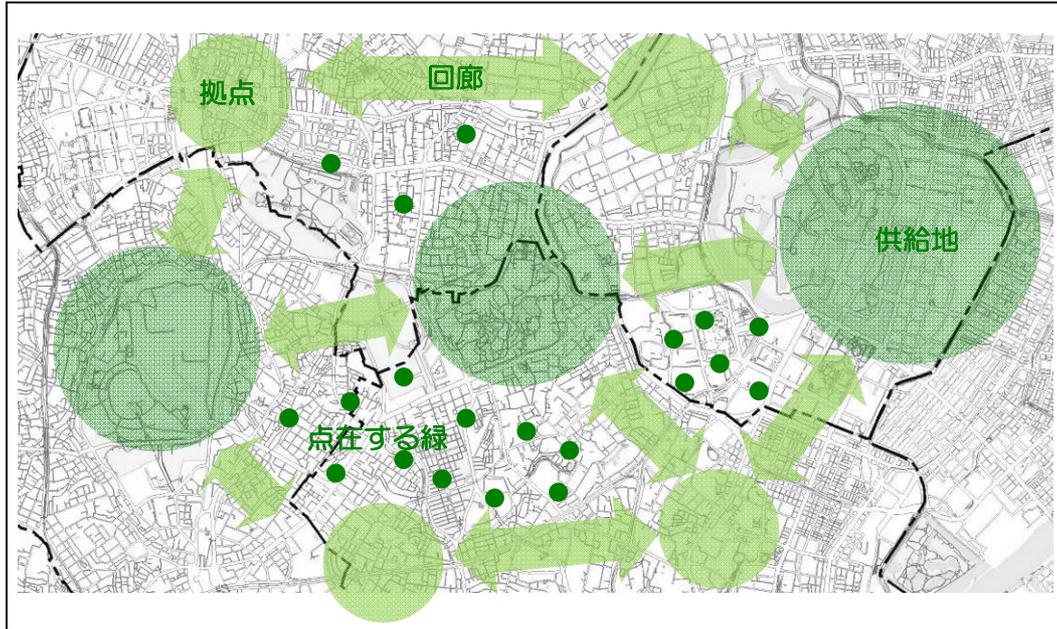
「港区生物多様性地域戦略 -生物多様性みなとプラン-」より

(2) エコロジカルネットワークの構成要素

エコロジカルネットワークの骨格となる4つの構成要素の役割と区内で該当する緑地は、以下のとおりです。

エコロジカルネットワークの構成要素

構成要素	役割	港区内で該当する場所	【保全・創出】 人との関係
供給地	他の地域への種の供給や他の場所からの種の逃避を受け入れる場所です。 人の側から見ると「生きもの」とのふれあい体験の場や「生きもの」の観察など環境学習の場を提供する働きも持ちます。	赤坂御用地、青山霊園、芝公園、芝離宮恩賜庭園、お台場海浜公園、有栖川宮記念公園、自然教育園などが該当します。	【保全】 自然とのふれあいの場 モニタリングのための生物調査地区
拠点	「生きもの」の生息・生育環境を充実させる場所です。 「生きもの」の分布域を拡大する働きをもち、中規模な公園緑地や再開発地区における緑地などが該当します。	区立公園が該当します。 再開発によって創出される規模の大きな緑地も該当します。	【保全・創出】 自然とのふれあいの場 身近な自然観察、環境学習の場、生物調査地区
回廊	「供給地」や「拠点」を連絡する役割を果たす場所です。 生きものが移動するための通り道となる緑や水辺です。	街路樹・生垣などの線状の緑、河川が該当します。	【保全・創出】 身近な自然とのふれあいの場
点在する緑	「供給地」「拠点」「回廊」の間を補完する役割を持ちます。 構造物など人工的なものに対する緩衝的な役割を担います。 人と「生きもの」が日常的にふれあう機会を提供する働きを持ちます。	個人の庭、公開空地、屋上や壁面の緑化 ²²⁾ 、学校、池、湧水地、プランターに至るまでの小規模な緑地が該当します。	【創出】 人と生きものとの日常的なふれあいの場



構成要素のイメージ



野鳥や昆虫などの繁殖地になっており、近傍への「供給地」となり得る愛宕山周辺です。



昆虫や小動物などの良好な生息環境となっている広場状の公開空地は「拠点」となり得ます。



野鳥や昆虫などが移動に利用する街路樹や斜面緑地は「回廊」となり得ます。



「点在する緑」は人工的な環境に対する緩衝や、人と生きものがふれあう場となり得ます。

構成する要素の例

(3) 港区エコロジカルネットワーク将来像 (2050年)

